

第8回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」

日時 平成30年12月16日(日)14時00分～16時00分

会場 五條市市民会館

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>他府県と比べて人口減少や高齢化が急速に進む奈良県では、どのような人口構造になっても健康に暮らせるよう、健康寿命日本一を目指しています。</p> <p>健康寿命を延ばすためには、県民自らが、年齢や健康度に合わせた健康行動をとる必要があります。県では、バランスの良い食事、適度な運動、適切な社会行動の3種類の健康行動に関する取組を推進しています。主な取組として、こども食堂の充実や、まほろば健康パークの機能強化、おでかけ健康法の普及等に努めています。</p> <p>取組の推進にあたっては、健康寿命をはじめとして、野菜摂取量や運動習慣者の割合、がん検診受診率等の各種指標の数値を示すことで、健康行動に対する県民の意識向上につなげています。いずれの指標も数値は良くなる傾向にあります。特に奈良県のがん年齢調整死亡率は、12年間で全国34位から6位に改善し、12年間の減少率は全国1位となっています。</p> <p>一方、救急搬送受入体制の改善や県立病院の再編整備等、医療提供体制の整備も進めています。また、住まいを中心に医療・介護・生活支援サービスが行き届くよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。さらに、医療保険の安定経営に向けた取組として、国民健康保険の県単位化、医療費適正化等を推進しています。</p> <p>今後も、「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」を、市町村と協働しながら積極的に行っていきたいと考えています。</p>

資料説明	太田五條市長
	<p>五條市の高齢者を取り巻く課題として、介護予防と重度化防止、地域交流・生きがいづくりの推進があります。平成27年度に奈良県と「五條市まちづくり基本構想」の協定を結び、医療・介護・保健の連携強化と地域ぐるみの健康づくりの取組として、住民主体の介護予防教室や健康と福祉のフェスティバルを実施しています。今後も、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいきたいと思っています。</p>

資料説明	杵本下市町長
	<p>下市町では、共生社会実現のまちづくりに取り組んでいます。簡単な健康づくりとして「ちょこっとウォーキング」を実施したり、認知症施策として認知症支援推進検討会を吉野町、大淀町と共同で設置し、地域における認知症の方への支援を広域的に実施しています。今後も、住民の力である地域力を強化し、元気で生き生きとした地域になるよう取り組んでいきたいと考えています。</p>

資料説明	辻村黒滝村長
<p>黒滝村では、住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる村づくりを基本理念としています。高齢者の健康増進や住民同士が交流する機会をつくるため、地域の奉仕活動等に参加するとポイントが加算される「黒滝村元気ふれあい活動ポイント手帳」を60歳以上の方と身体障害者等の方に配布し、利用率は年々上昇しています。今後も、さまざまな取組を推進し、さらなる健康寿命の延伸を目指していきます。</p>	

資料説明	車谷天川村長
<p>天川村では、健康に関する取組として、コミュニティナースを地域おこし協力隊として配置し、日常的に住民と関わることで、病気の早期発見、医療、福祉、行政への橋渡しを円滑に行っています。また、暮らしに関する取組として、平成32年度から小規模多機能型居宅介護施設の運用を予定しています。今後も、生きがいが感じられる地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。</p>	

資料説明	角谷野迫川村長
<p>野迫川村では、長期にわたって歯科医師がおらず、交通環境が不便な当村では、歯科受診の機会がないと言ってもいい状況が続いていました。食べることは生活の基本であり、健やかに暮らし続けるためには口と歯の健康を保つことは重要であることから、平成28年度から国保診療所で歯科診療を開始し、受診者数は年々増加しています。今後は、若い世代にも口腔ケアの大切さを広めていきたいと考えています。</p>	

資料説明	更谷十津川村長
<p>十津川村では、地域でお互いに支え合い、最期まで安心して暮らし続けられる環境づくりとして「高森のいえ」をつくりました。「高森のいえ」に集まって生活することで、医療・介護・福祉等を包括して、集落での生活を支えています。今後は、このような取組を村内の他の地域でも展開していき、いつまでも住み続けられる村づくりを推進していきたいと思ひます。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>奈良県のがん死亡率は、年々減少しています。これは、がん治療が高度化してきていることが背景にあると思います。がん検診を受診すれば、早期発見につながり、治療効果がさらに出る時代になってきていますので、がん検診はとても意味のあることだと思います。</p>	

質疑応答①	<p>下市町における高齢者の「いきいきサロン」の数が増加している要因は何ですか。また、県で高齢者の居場所づくりを増やすために取り組まれていることはありますか。(下市町在住者)</p>
<p>(杵本下市町長)</p> <p>「いきいきサロン」が増加したのは、地域包括ケアシステムに関する研修会に多くのボランティアが参加し、研修後も各地域で頑張っていたいただいた結果だと思います。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>県では、魅力のある楽しいイベントを開催して、出かけるきっかけづくりをしています。イベントをするには場所が必要ですので、今後は、皆が集まれる場所づくりを進めていきたいと考えています。</p>	

質疑応答②	<p>五條市の「G o j o 元気サポーター」の取組について教えてください。また、県では高齢者の健康づくりや介護予防について、どのような取組をされていますか。(五條市在住者)</p>
<p>(太田五條市長)</p> <p>「G o j o 元気サポーター」は、全6回の養成講座を受講することで、各地域の「住民の通いの場づくり」を進める原動力となり、地域の皆さんを引っ張っていく活躍を期待し、養成に取り組んでいます。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>地域フォーラムに参加いただくことも健康づくりにつながっていると思います。また、身近なところに健康サポーターがいると、住民同士の交流も増え、生き生きとした生活につながると思います。</p>	

質疑応答③	天川村で導入されたコミュニティナースについて、どのような活動をされていますか。(天川村在住者)
<p>(車谷天川村長)</p> <p>コミュニティナースの役割として、訪問介護、訪問看護等があります。少子高齢化で医療に関わる人材が不足していますが、お互いが協力することで、さまざまな事業に携われるといった効果があると思います。</p> <p>(角谷野迫川村長)</p> <p>野迫川村でもコミュニティナースを募集していますが、なかなか応募がないのが現状です。コミュニティナースがいることで、細かな点に気付いて対応いただけると聞いていますので、ぜひ配置したいと考えています。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>コミュニティナースはさまざまな役割を担っていますが、仕事の範囲がまだ確立されていない状況にあると思います。コミュニティナースの仕事のイメージを確立することは、地域包括ケアの決め手になるのではないかと思います。</p>	